

第6学年3組 外国語活動学習指導案

指導者：八幡小学校主幹教諭 岡本真砂夫 (JTE)

外国語指導助手: ○○ ○○ (ALT)

1 単元名 “What’s your best memory?” (We can! 2 Unit 7)

2 趣 旨

- 本単元では小学校生活をふり返り、それぞれの一番の思い出を紹介し合う内容が取り上げられている。*We can2! Unit 5 “My summer vacation.”*では、夏休みの思い出を互いに紹介し合う内容になっており、授業の展開は本単元に近い。*Unit 5*では“*My summer vacation.*”と全員が同じ一文を用いたことに対し、本単元では“*My best memory is my (行事名).*”と、それぞれの別の思い出を紹介する。用いる過去形の動詞は、*Unit 5*で習った“*went*”“*enjoyed*”“*ate*”等に加え、“*played*”“*saw*”等が加わる。“*enjoyed*”の後には動名詞が続く統語構造になっている。補語として用いられる思い出の行事は、“*sports day*”“*school trip*”等、多くの複合語が扱われており、名詞句と混同しないようイントネーション（ピッチ変化）に気をつけさせる必要がある。また、行事名を修飾する一人称所有格代名詞の“*my*”は、行事によって必要な場合と、必要ない場合がある。例えば、“*school trip*”は“*my school trip*”だが、“*sports day*”に“*my*”は必要ない。それぞれが小学校生活を振り返るので、自分自身について他者に伝えるのに適した単元である。
- 本学級の児童は明るく素直で、前向きに外国語活動に取り組んでいる。大きな声で発音する児童は多くないが、声を出して練習することが英語の力を高めるために大切だと理解しており、意欲を持って授業に取り組んでいる児童が多い。6年生児童は昨年度、英語教室で年間約50時間の外国語活動に取り組んでおり、昨年度から英語専科教員が引き続き授業を担当している。*We can2! Unit 5 “My summer vacation.”*では、自分たちの夏休みの思い出を伝え合ったり、字形や単語間の幅に気をつけながら書いたりすることができた。また、“*How are you?*”等の対比的焦点の変化によるピッチ変化について意識できるよう、主に帯活動を通して取り組んできた。
- 指導にあたっては、まずは多くの語彙に慣れさせるため、ゲーム等の活動を通じて名詞、動名詞、過去形の動詞に慣れさせることとする。語彙数が多いため、じっくりと取り組ませたい。その際、動詞の過去形と現在形を関連付けるのではなく、別の語として扱うこととする。次に、インタビュー活動を通じて友達と「一番の思い出」について交流することを通じて表現を定着させる。聞かれた側が“*What’s your best memory?*”を相手に問い返す際、焦点が“*best*”から“*your*”に移動するので、対話を行う際にはイントネーションを意識させたい。次に、児童からとった「思い出アンケート」を元に、教師が児童一人一人のアルバム手本を作成する。教師が作成することで、行事名を修飾する“*my*”をつける必要性のあるなしを判断すると共に、児童が「なぞる」「写す」という「書く」活動に専念できるようにする。そして、それぞれが作成したアルバムを発表することで、互いの良さを認め合いながら伝えよう合おうとする態度を培いたい。

3 小中一貫教育の視点

New Crown（三省堂）では、一般動詞の過去形は、*New Crown 1 Lesson 9*に繋がっている。自分について他者に紹介する活動は、*New Crown 1 Project 3*「大切なものを紹介しよう」においてShow & Tell形式で取り入れられている。動名詞、“*enjoy*”の表現は、*New Crown 2 Lesson 4 “Enjoy Sushi”*に繋がっている。

4 単元の目標

- ・ 学校行事について、聞いたり言ったりすることができる。（知識及び技能）
- ・ 学校行事について伝え合ったり、手本を参考に字形や単語間の幅を意識しながら書いたりする。（思考力、判断力、表現力等）
- ・ 他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）

5 主な言語材料

What's your best memory? My best memory is (sports day). We enjoyed (running). We [went to (Kyoto) / ate (Japanese food) / saw (old temples) / enjoyed (the trip)].

行事 (school trip, field trip, graduation ceremony, music festival, swimming meet, sports day, marathon, *mochi* making festival), we, 季節, 教科, 状態・気持ち, 施設・建物, 飲食物, 動作, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was, played 等) 動名詞 (seeing, playing, swimming 等)

6 指導計画 (全5時間)

- 第1時 おはじきやカルタ等のゲームを通じて, 新出単語, 表現に慣れさせる。
- 第2時 それぞれの思い出について交流をする (本時)。
- 第3時 小学校生活を写真から振り返る。
- 第4時 アルバムを作成する。
- 第5時 アルバムを用いて交流する。

7 本時の目標 (2/5時間目)

- それぞれの一番の思い出について友達と交流をする。
- デジタル教材の音声を聞き取る。
- 字形や単語間の幅を意識しながら文字をなぞり, 写す。

8 本時の展開

学 習 活 動	教師の支援と指導上の留意点 ●評価		備 考
	JTE	ALT	
1. Greeting 挨拶をする。	“fine” “good” “OK” “well” と, ポジティブな挨拶を交わす。	JTE と挨拶の手本を示す。	フラッシュカード
2. 児童同士で Small talk を行う。	昨日食べたものをテーマにスモールトークを行う。JTE と ALT が対話の手本を見せ, 次に児童同士で取り組ませる。	JTE と対話することで, 児童に音声を聞かせる。	
3. 新出単語のカルタゲームを楽しむ。	1回目はJTE が単語単位で読み上げる。	2回目はALT が文単位で読み上げる。	英語カルタ
4. 対話活動に取り組む。	名簿教材を用いて, 小学校で一番の思い出を互いに交流させる。	積極的に児童と対話し, 英語でのやり取りを経験させる。	名簿教材 デジタルコンテンツ
互いの小学校で一番の思い出について交流しよう。			
	● 自分の思い出を多くの友達に伝え, 交流をしているか。		
5. “Let’s watch and think” 4 に取り組む。	デジタルコンテンツを提示する。		デジタルコンテンツ 黒板用カード
6. ワークシートに取り組む。	字形, 単語間の幅を意識させる。	書きにくい児童に個別指導を行う。	ワークシート
7. Greeting 挨拶をする。	児童と挨拶をする。	児童と挨拶をする。	